

第1学年 生活科学学習指導案

日 時 平成26年10月10日(金) 5校時
場 所 1年1組教室
児 童 1年1組 男子17名 女子16名 計33名
指導者 高橋美穂

1 単元名 「あきとともにだち」(教育出版)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、本単元までに、学校探検によって小学校という新しい環境や仲間との出会いを経験し、活動すること、何かを発見すること、友達と一緒に遊ぶことの楽しさに気付いている。また、春、夏に行った学校の周りや館山の校庭、史跡公園での草花の観察、虫さがし等の活動を通して、自然とかかわってきた。

はじめは、自分の好きな草花や虫だけに興味をもち、他の草花や虫には興味を示さない児童もいたが、友達と一緒に身近な自然とかかわる活動を通して、いろいろなものに関心を示し、積極的に探す様子も見られるようになってきた。観察を通して気付いたことや活動の様子を絵や言葉、文で表現し、友達と交流することができるようになってきた。しかし、友達の気付きと自分の気付きを比べながら見たり聞いたりすることや、友達のよさを自分に取り入れ、もっといいものに行こうとする意識はまだ十分とは言えない。

(2) 学習材について

本単元は、学習指導要領内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」と内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばせに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付く、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」に基づいて設定したものである。

本単元では、季節の変化を感じながら、秋の自然を利用して楽しく遊んだり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付く、安全に気を付けてみんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができることをねらいとしている。

自然と触れ合う遊びを友達と一緒に経験することは、友達のよさに気付かせ、関係をより深めるきっかけにもなる。それにより、学校生活をより楽しく、安定したものへと導いてくれることにもなる。

様々な生き物や植物との出会いは、子ども達の知的好奇心をかき立てるとともに、季節感を養うことにもつながる。また、諸感覚をはたらかせて草花や虫などの自然とふれ合うことができ、友達と一緒に遊んだり学んだりすることができる価値ある単元であると考えられる。

(3) 指導にあたって

子ども達は、旧校舎である館山校舎の校庭に出向いて、季節の草花や虫たちと遊ぶ活動をしている。一年間を通して活動することで、自分達の生活や季節の様子が移り変わることに気付く、遊びを楽しんだり工夫したりすることができるようにしていきたい。

単元構成にあたっては、公園や旧校舎の校庭の秋の草花や樹木などの自然物・虫を学習対象とし、それらとのかかわりを通して地域に親しみをもつとともに、秋の季節を体全体で感じ取り、秋の草花を使って遊ぶ楽しさに気付くことを期待している。そのために、本単元では、旧校舎の校庭へ行って秋を見つけたり、草花等で遊んだりする。また、生き物を探したり、草花でできる遊びを工夫したりしながら友達と楽しく遊び、自然の中で遊ぶ楽しさを味わわせたい。

見つけた木の実や葉っぱを使って作品をつくる際には、友達の作品を見たり一緒に遊んだりする場面や、より楽しく遊ぶことができるように互いの気付きを交流する場面を設定する。これらの活動を通し、友達とかかわり、協力して活動する楽しさを味わわせたい。

また、秋の旧校舎の校庭の自然や特徴をとらえたり、季節の変化を感じ取ったりすることにより、身近な自然とのかかわりを一層深め、自然の美しさや巧みさ、不思議さや面白さなどの自然の素晴らしさに気付く、身近な自然とかかわり合う楽しさを感じ取ることができるようにしていきたい。

3 単元の目標と評価規準

【目標】

- ①季節の変化を味わいながら、見つけた木の実や葉を使って遊んだり、公園や野原、学校の周りで秋を探したりして、自然のよさを自分なりに感じ取ることができる。
- ②秋の樹木や草花、虫などの様子を知り、自然物や身のまわりの物を使って遊びに使うものをつくったり、楽しく遊べるように遊び方やきまりを工夫したりすることができる。
- ③友達と力を合わせていろいろなものをつくったり、遊んだりしながら、自分たちの生活を楽しくしようとするすることができる。
- ④学校や公園、通学路などの自然の様子から季節の変化に気付き、秋の自然の中で遊ぶことの楽しさに気付くことができる。(5)(6)

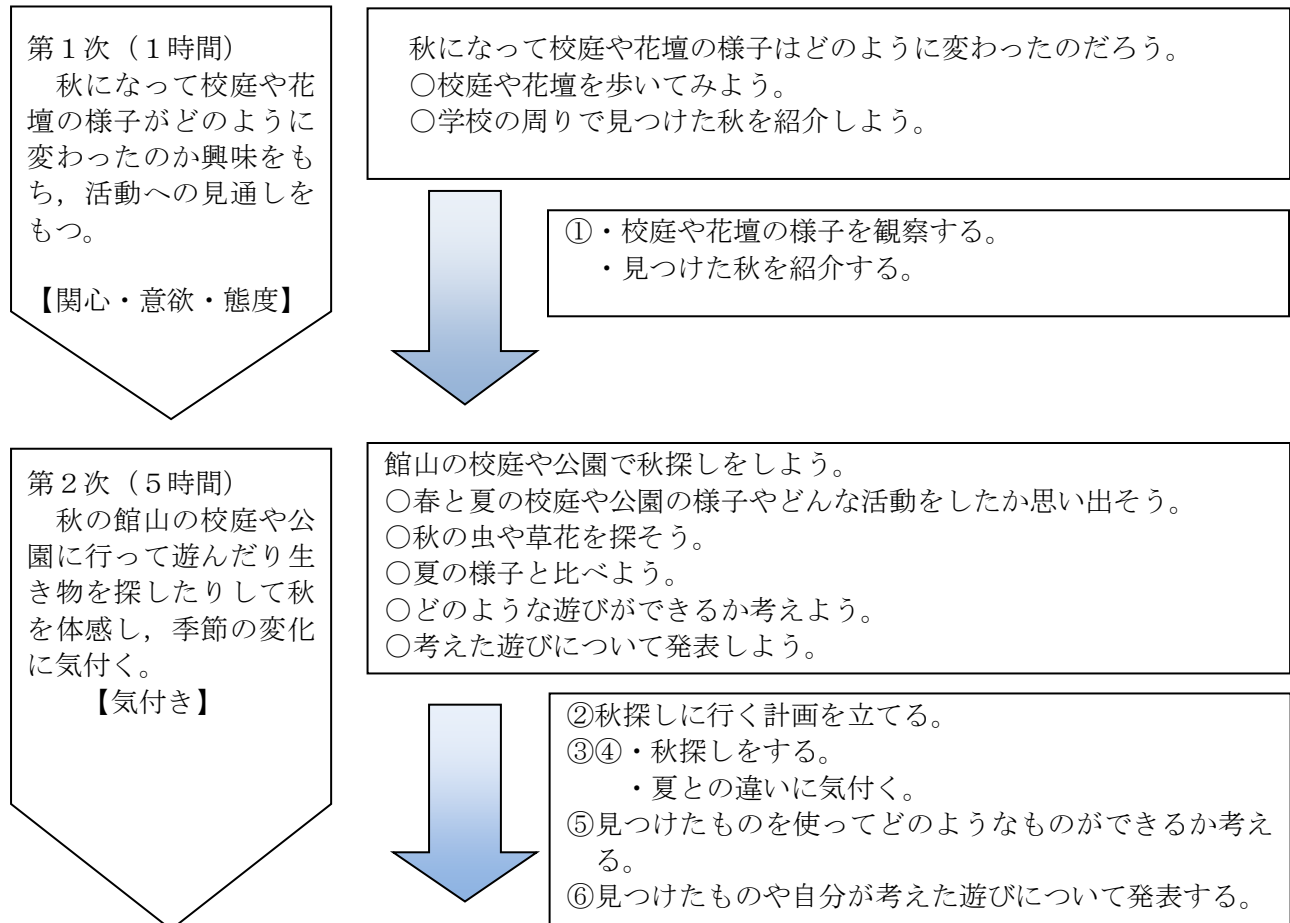
【評価規準】

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
・秋を探したり調べたりする活動の中で、見つけてきた木の実や葉っぱなどの自然物を使って遊ぶものをつくったり、友達と関わりながら楽しく遊んだりしようとしている。	・比べたり、試したり、見立てたりしながら遊びを工夫したり、遊びの約束やルールなどを考え、遊びをつくり出したりしている。	・自然の中で遊んだり身のまわりの物を使ってつくったり遊んだりすること、友達と関わって遊ぶことの楽しさや、友達のよさや自分との違いに気付いている。

4 単元の「学びのプロセス」の構想（16時間）

【指導過程】

【問題解決の流れ】と【主な学習活動】



第3次（1時間）

見つけた木の実や葉について調べ、気付いたことを発表する。

【気付き】

見つけた木の実や葉っぱ，虫を詳しく調べよう。

- 見つけたものを観察しよう。
- 図鑑や教科書を使って調べよう。
- 見つけたものや教科書などから作るものを考えよう。
- 木の実や葉っぱを仲間わけしよう。【ジャンプの課題】

- ⑦・見つけたものを観察する。
・図鑑や教科書を使って調べる。

第4次（5時間）

木の実や葉などを使って遊んだり，特徴を生かした簡単なおもちゃをつくりたりして楽しむ。

【思考・表現】

【気付き】

見つけた木の実や葉っぱを使って発表するものをつくろう。

- つくった物や友達がつくった物で遊んでみよう。
- 友達の工夫を見つけよう。
- もっとよい方法がないか考えよう。【ジャンプの課題】

- ⑧⑨見つけた木の実や葉っぱを使って発表するものをつくる。
⑩友達と一緒に活動する。【本時】
⑪友達と一緒に活動する。
⑫さらによいものをつくる。

第5次（4時間）

ほかの学級の友達を招待して，一緒に楽しむ。

【関心・意欲・態度】

発表会をしよう。

- ペアやグループで発表の練習をしよう。
- 自分の発表を見直したり練習したりしよう。
- 友達のよいところを伝えよう。
- 活動を振り返ろう。

- ⑬⑭ペアやグループで発表の練習をする。
⑮自分の発表を見直したり練習したりする。
⑯・友達のよいところを伝える。
・自分のがんばったところや友達のよさについて振り返る。

5 本時の指導（9／16）

（1）目標

○木の実や木の葉を使った作品を、比べたり試したりしながら、友達によさや自分との違いに気付くことができる。

（2）展開

段階	学習活動	教師の支援と評価	準備物等
つかむ 5分	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> きのみやはっぱをつかってあきのものをつくろう。 </div>	★手立て2（対話）手立て3（「課題設定」と「評価活動」） <ul style="list-style-type: none"> ・何人かの児童の前時の振り返りを紹介する。 ★振り返りと本時の課題を関連させ、他の学級の友達に発表するためのものを作っていることを確かめる。 	振り返りカード
学び合う ふかめる 30分	2 つくっているものをペアで見せ合い、本時で何をするのかを確認する。 3 自分の作品をつくる。 4 友達の作っているものを見て、気付いたことをもとに作品をつくる。 (1) 友達のつくっているものを見たり、一緒に体験したりする。 (2) 友達によさや工夫していること、自分との違い等、気付いたことを発表する。 (3) 友達と交流して気付いたことをもとに、自分の作品をつくる。	★自分が何をつくっているのか、本時で何をするのかを確認するためであることから、伝える視点と聞く視点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に遊んだり作ったりしながら、よいところを誉める。 ・困っていることは自分から言わせるようにしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に体験したり質問したりすることで子どもたち同士の交流を促す。 ★友達のよいところやすごいなあと思ったことと、自分との違いを発表させる。 ・自分から友達と比べたり、一緒に体験したりできない児童については、だれと一緒に活動できそうかを考えさせ、活動させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉 木の実や木の葉を使った作品を、友達と比べたり確かめたりすることにより、友達によさや自分との違いに気付いている。</p> <p>【気づき】 〈評価方法〉発表・カード</p> </div>	木の実、木の葉等の材料 活動用の机
ひろげる 10分	5 学習を振り返る。 ・学習してわかったこと ・がんばったこと 6 次時の活動内容を知る。	★振り返りの視点を与え、「学習してわかったこと」「がんばったこと」「友達のいいなあとおもったこと」についてカードに書かせる。	振り返りカード

(3) 板書

きのみやはっぱをつかって あきのものをつくろう。

きのみ

がっき めいろ まとあて
こま どうぶつ

はっぱ

え かざり

名簿

だれが何をつくっているのか。